

◆ 学 位	学 位 名	博士 (商学) 日本大学	修士 (経営学) 日本大学
	取得方法	論文 平成 20 年取得	課程 平成 15 年取得
◆ 学 歴	大 学	日本大学経営学部商学科経営学専攻 平成 13 年卒業	
	大 学 院	日本大学大学院商学研究科経営学専攻後期課程 平成 18 年満期退学	
◆ 学 内 職 務 (平成 22 年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪</li> <li>▪</li> <li>▪</li> </ul>		
◆ 担当授業科目 (平成 22 年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 経営社会学</li> <li>▪ 国際経営学</li> <li>▪ 社会組織論</li> <li>▪ アジア文化</li> </ul>		
◆ 職務上の実績に関する事項 (資格, 免許, 特許, 等)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 外国人に韓国語を教える資格</li> </ul>			
◆ 専門研究分野		◆ キーワード	
経営学		<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ コーポレート・ガバナンス</li> <li>▪ 組織論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 韓国財閥</li> <li>▪</li> </ul>
◆ 研究概要	韓国財閥について研究		
◆ 所属学会	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 日本経営学会</li> <li>▪ 東アジア経営学会</li> <li>▪</li> </ul>		
◆ 主要著書 (5 件程度)			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 韓国の政治社会と企業社会</li> </ul>	共	平成 18 年 6 月	ブレーン出版
<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 韓国財閥の発展とコーポレート・ガバナンス—効率性と公平性の関係を中心に—</li> </ul>	単	平成 20 年 3 月	日本大学大学院商学研究科経営学専攻 博士学位論文
▪			
▪			
▪			
◆ 主要論文 (5 件程度)			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 韓国における財閥の特質とコーポレート・ガバナンスに関する研究</li> </ul>	単	平成 15 年 3 月	日本大学大学院商学研究科商学論叢 第 27 号
<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 韓国財閥の公平性分析と企業統治問題</li> </ul>	単	平成 17 年 9 月	四天王寺国際仏教大学紀要第 40 号
<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 韓国財閥におけるステークホルダーへの利潤配分とその公平性—労働配分率と株主配当率の比較—</li> </ul>	単	平成 18 年 7 月	四天王寺国際仏教大学紀要第 42 号
<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 韓国財閥の歴史的発展と構造改革</li> </ul>	単	平成 20 年 3 月	四天王寺国際仏教大学紀要第 45 号

韓国財閥の所有構造の ▪ 変遷とコーポレート・ガバナンス	単	平成 22 年 3 月	四天王寺国際仏教大学紀要第 49 号
◆ その他（5 件程度）			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
韓国財閥とコーポレート・ガバナンス —経済的効率性と社会的公平性を中心に— ▪	単	平成 16 年 9 月 15 日	アジア経営学会
▪			
▪			
▪			
▪			